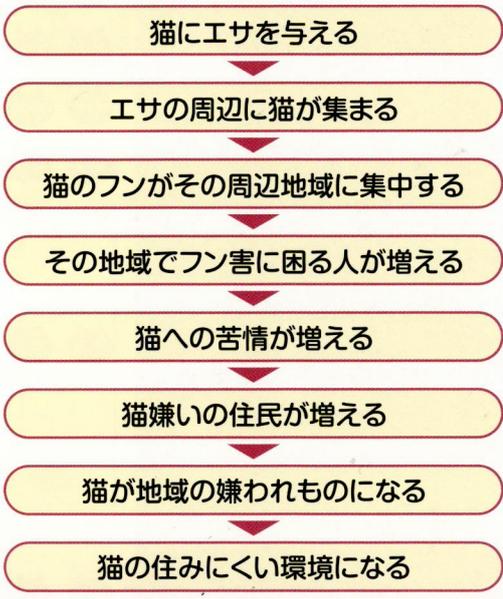




エサを与えることで、あなたにはその猫の命に対する責任が生まれています。
 地域のみなさんの理解は得られていますか？

地域の住民に迷惑をかけてまで、猫にエサをやっていいものではありません。猫にエサを与えるなら、少なくともフンの管理(トイレの設置・清掃)、置きエサをしない、子猫が増えないように避妊・去勢手術をする、などの愛情をかける必要があります。



悪循環

猫が地域で嫌われものにならないためにも、悪循環を断ち切りましょう!

猫の苦情実態

(平成27年度、京都府内 1,250件)

市町村や保健所等には、猫による苦情が多く寄せられています。地域住民が困り果てて、悲痛な声もあります。

主な苦情内容

- 無責任なエサやりをしている
- 庭や公園にフンが放置され不衛生
- フン尿の悪臭で窓が開けられない
- 車を傷つけられる
- 困っているから捕獲してほしい (保健所では捕獲していません)
- ネコノミに刺されてかゆい



あなたが野良猫をかわいそうと思うのと同じように野良猫によって迷惑を被り困っている人もいます。地域の理解のないままのエサやりはトラブルを招きます。

猫は室内で飼いましょう

室内飼育は、交通事故や病気、けがなどの危険から猫を守ります。



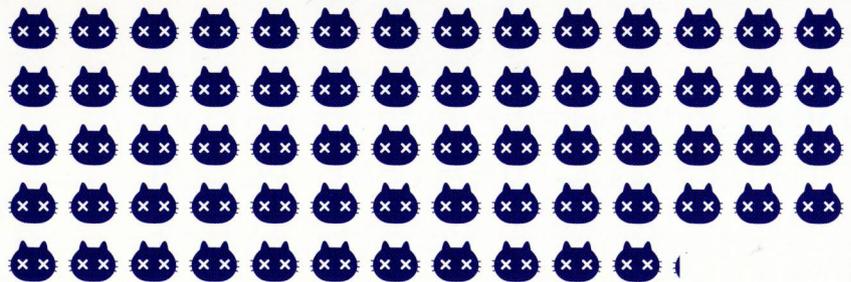
外飼いの猫はこんな危険な目にさらされています

① 交通事故に遭う

×× = 100匹

交通事故などで死亡する猫の推計頭数

6,730匹



産み落としなど所有者不明の猫の引取依頼数

1,273匹



保健所に引き取られる飼えなくなった猫の頭数

163匹



(平成27年度京都府内 市町村廃棄物処理等統計データより)

② 猫が感染症にかかる ×× → ××

猫から猫に感染する病気(猫エイズ、猫白血病など)

③ ノミ・ダニを持って帰る

④ 望まない子猫が生まれる

⑤ 行方不明になる



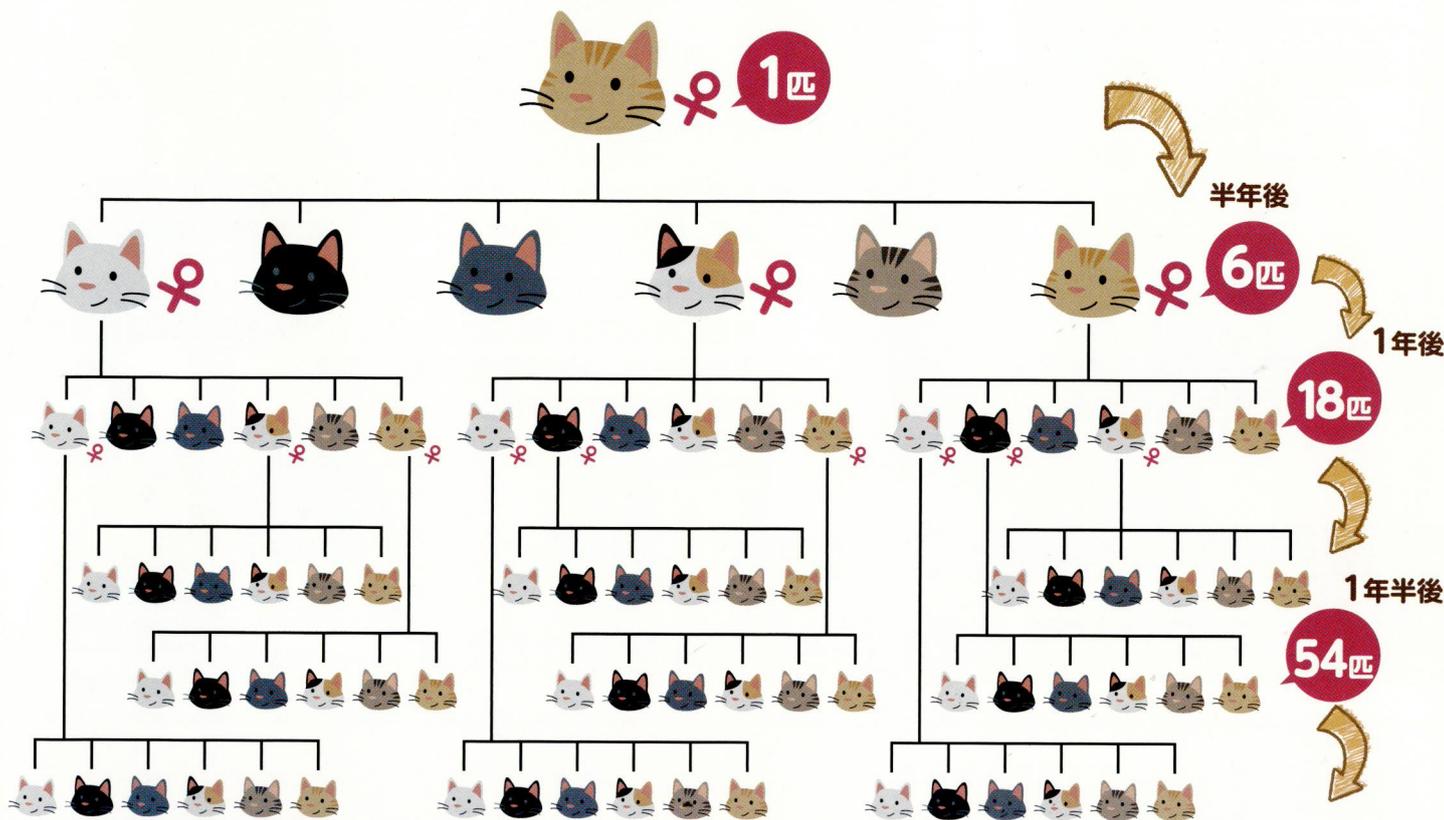
路上で倒れている病気の猫

知っていますか？

猫がこんなに増えることを



猫が1回に6匹子猫を産み、その子猫がまた半年後には子猫を産む…と考えると、理論上こんなに増えてしまいます。



避妊・
去勢手術
をすると



産まれない！



それでも、避妊・去勢手術をしませんか？

猫は完全室内飼育できる動物です。 こうすれば室内だけで 猫が暮らせる!!



1

立体的な運動ができる場所を設ける

高い場所によじ登る行動は、猫のエネルギー発散になるので、安全で立体的な運動ができる場所を確保します。

また、猫が遊べるような道具を与えたり、外を眺める場所を設けるなどして、気を紛らわせることも必要です。



2

トイレのトレーニングをする

子猫のときは、浅いプラスチックトレーを代用し、大きくなれば市販の猫用トイレを使うと便利です。

環境の変化などで「そそう」をする場合があるので、トイレはいつも清潔にしましょう。



4

避妊・去勢手術をする

避妊・去勢手術の効果

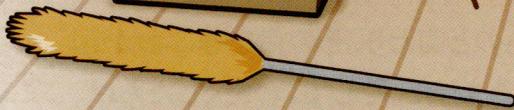
| | |
|----|---|
| オス | <ul style="list-style-type: none"> ・性格が穏やかになる。 ・尿スプレーをほとんどしなくなる。 |
| メス | <ul style="list-style-type: none"> ・望まない妊娠を防ぐ。 ・異常な鳴き声などの発情行動がなくなる。 ・子宮蓄膿症などの病気が予防できる。 |

※避妊・去勢手術については、動物病院でご相談ください。

3

名札・マイクロチップをつける

屋外に出て、迷い子になったときのことを考えて、名札やマイクロチップを装着しましょう。



猫から人に感染する病気

猫から人に感染する病気が知られています。猫とは節度を持った付き合い方をしましょう。また、ひっかかれた後やフン等の清掃後はしっかり手を洗いましょう。



例

猫ひっかき病

猫のひっかき傷、咬傷により感染する細菌の感染症です。

真菌症

原因となる皮膚糸状菌はカビの一種です。猫に感染する真菌の大部分は人にも感染力を持ちます。

トキソプラズマ

寄生虫が原因の感染症です。感染した猫のフンに含まれるトキソプラズマを何かの拍子に口に入れることで人に感染します。

猫回虫

猫回虫は猫の小腸に寄生する寄生虫です。感染した猫のフンには猫回虫の虫卵が混ざって排出されます。